【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第６区分
【発行日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【公表番号】特表2018-511539(P2018-511539A)
【公表日】平成30年4月26日(2018.4.26)
【年通号数】公開・登録公報2018-016
【出願番号】特願2017-554070(P2017-554070)
【国際特許分類】
Ｂ６７Ｄ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６７Ｄ　1/12

【誤訳訂正書】
【提出日】令和1年6月11日(2019.6.11)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１５】
本願は飲料を飲用容器に分注するための自動飲料分注装置を提供する。自動飲料分注装置は計量機構を操作するためのユーザーインターフェースを備えていてもよい。計量機構は、分注すべき正確な液体量を計量し、永久（磁気）媒体上に情報を記録する性能、送出管内の飲料圧を測定するためのセンサー（複数可）、タイマーおよび計量機構とユーザーインターフェースとの間の情報交換用の通信システムを有し得る。通信システムは、ＬＣＤ、キーボード、マウス、または一連の点滅光およびボタンを介した相互作用を備えていてもよい。飲料分注装置は、無線プロトコル（Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ（登録商標）、Ｗｉ－Ｆｉ、インターネット等）を用いて標準的なＰＣまたはスマートフォンと通信するための無線通信機能をさらに備えていてもよい。いくつかの供給源からの大量飲料は、大容量飲料容器との流体連通から生じた単一のシステム内圧力によって特定された容積である計量室を通して付勢されるように、要求に応じて計測することができる。様々な飲料の正確な（推定でない）分注量を供給する必要が無くなるだけでなく、吐出を、様々な分注飲料に適切に相関した温度で分注することができる。そのようにして、および、そのようなシステムを用いることで、質および量の制御を、容易に達成し、追跡し、報告することが可能となる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３１】
いくつかの供給源からの大量飲料は、大容量飲料容器３０との流体連通から生じた単一のシステム内圧力によって特定された容積である計量室４０を通して付勢されるように、要求に応じて計測することができる。様々な飲料の正確な（推定でない）分注量の供給が不要になることに加え、本発明は、吐出を、様々な分注飲料に適切に相関した温度で分注することも可能にし得る（以下により詳細に記載される）。そのような作動特性によって、本発明のシステム１０は、容易に達成、追跡および報告が可能な、独自の質および量の制御を可能にし得る。